

フロンティア分野における中間フォローアップの進め方について

(1) 分野別推進戦略全体の中間フォローアップの進め方について

第3期科学技術基本計画では、3年を経過したときに毎年度末に行うフォローアップよりも詳細なフォローアップ（以下、「中間フォローアップ」という。）を実施することとなっている。

中間フォローアップの具体的なスケジュールは、平成20年6月17日開催の基本政策推進専門調査会における資料参考1のとおり、平成20年3月頃までに各分野別のプロジェクトチーム（PT）において、「第3期科学技術基本計画分野別推進戦略」（以下、「分野別推進戦略」という。）に係るフォローアップを行い、5月～6月に開催予定の基本政策専門調査会で最終的に取り纏め、本会議に適宜報告することとなっている。

(2) 宇宙開発戦略本部との関係について

本年8月に施行された宇宙基本法に基づき、宇宙開発戦略本部及び同本部の下の宇宙開発戦略専門調査会において、現在、今後の我が国の宇宙開発利用に係る基本的な計画が、安全保障等も含む総合的な観点から検討されているところ。

このため、フロンティア PT においては、現在進めている施策について、技術的な見地からの検討を行うこととする。

注：日本のロケットファミリーのあり方や、将来の国際宇宙ステーション計画のあり方等の政治的な判断を必要とする事項については、宇宙開発戦略本部における議論に委ねる。

(3) フロンティア分野における中間フォローアップの進め方について

「第3期科学技術基本計画」策定時点からの状況変化を踏まえ、現在の研究プログラムのあり方全般について、今後特に注力し加速すべき事項、必要性の薄れた事項等について議論するべく、以下の作業①、作業②を行う。(※作業②を先行して行います。)

【作業①】 (参考1のI(1)の部分)

戦略重点科学技術、重要な研究開発課題の進捗状況の把握・整理を行う。
事務局において施策を実施する府省に実施状況を問い合わせた結果について、平成21年度3月以降、フロンティアPT会合で議論し、「最終取り纏め」として報告書を作成する。

【作業②】 (参考1のI(2)及びIIの部分)

次頁の「重点的に議論すべき事項」及び「PTにおいて必要と判断された事項」について、現状における課題や問題点を洗い出し、それらに対する対応方針等の議論を行う。
議論を集約した形として、まず「中間取り纏め」を作成し、その後更に議論を発展させ「最終取り纏め」として報告書を作成する。

(※それぞれの取り纏めのイメージ)

- 中間取り纏め・・・フロンティア分野として重点的に議論すべき事項の目次
- 最終取り纏め・・・作業①と作業②の結果を取り纏めたもの

重点的に議論すべき事項

(1) ユーザの視点に立った衛星の利活用方策

■ 衛星の性能向上等に伴い、利活用の可能性も急速に拡大。ユーザの視点に立った利活用方策の掘り起こしが必要。

- 衛星利用に対する今後のニーズは。
- 官に求められる新技術研究開発ニーズ。官民の協力体制の方向性。

(2) 海洋地球観測探査システム（資源開発の観点から）

■ 資源価格の高騰などを背景として、陸上・海洋における石油・資源開発の重要性が、今後一層高まると考えられるが、期待されるセンサー技術、データの融合処理技術など、日本が目指すべき方向性は何か。

- 世界における資源探査技術の動向
- 国際競争力確保の観点から、官に求められる新技術研究開発ニーズ。

(3) ロケット・衛星の国際競争力強化のために必要な技術課題（暫定）

■ 日本の基幹ロケットが国際競争力を確保するために必要な技術開発における課題、官民連携して進めるべき取組みは何か。（技術課題以外の長期戦略は今回の検討対象外。）

■ 日本の衛星製造企業は、未だに海外からの受注実績がなく、海外の調査機関のランキングでも、日本の産業界の国際競争力は低位に位置づけられている。日本の宇宙産業競争力強化に向けた取組みの在り方は。

- ロケットの国際競争力確保の観点での取組み
- 国際競争力確保の観点から、日本製の衛星に求められる性能・コスト
- 信頼性向上対策など、官民の協力体制の方向性

※フォローアップとして次の観点から議論

- ◆ 計画策定時からの状況変化により、現在、行っている研究開発の中に実施の意義が低下しているものはないか。全くの新規研究開発テーマの議論を行うことはしないが、既存施策のレビューという観点から、「社会状況の変化に対応して、こういう視点の研究に取り組むべき、利活用促進の観点からこうした研究に力点を置くべき」との議論は排除しない。
- ◆ 研究の推進にあたって、問題となっていることはないか。
- ◆ 研究開発成果が十分活用されているか。
(仮に十分な利活用に結びついていない場合、その原因について議論する。)

今後のフロンティア PT 会合スケジュール (案)

○第5回 フロンティア PT 会合 (11月21日 (金) 16:00~18:00)

- 中間フォローアップの進め方について
- フロンティア分野として「**重点的に議論すべき事項**」について議論
- 「(1)ユーザの視点に立った衛星の利活用方策」について議論
 - 有識者から意見聴取
 - 追加検討課題について

○第6回 フロンティア PT 会合 (12月18日 (木) 16:00~18:00 を予定)

- 第5回の議論を受けて作成した「**中間取り纏め案**」について議論、決定
- 「(2)海洋地球観測探査システム：資源開発の観点から」について議論
 - 有識者から意見聴取

○第7回 フロンティア PT 会合 (1月~2月頃)

- **作業②の取り纏め**に向けた議論 (第5回、第6回の議論を元に作成)
- 「(3)ロケット・衛星の国際競争力強化のために必要な技術課題」について議論
 - 有識者から意見聴取

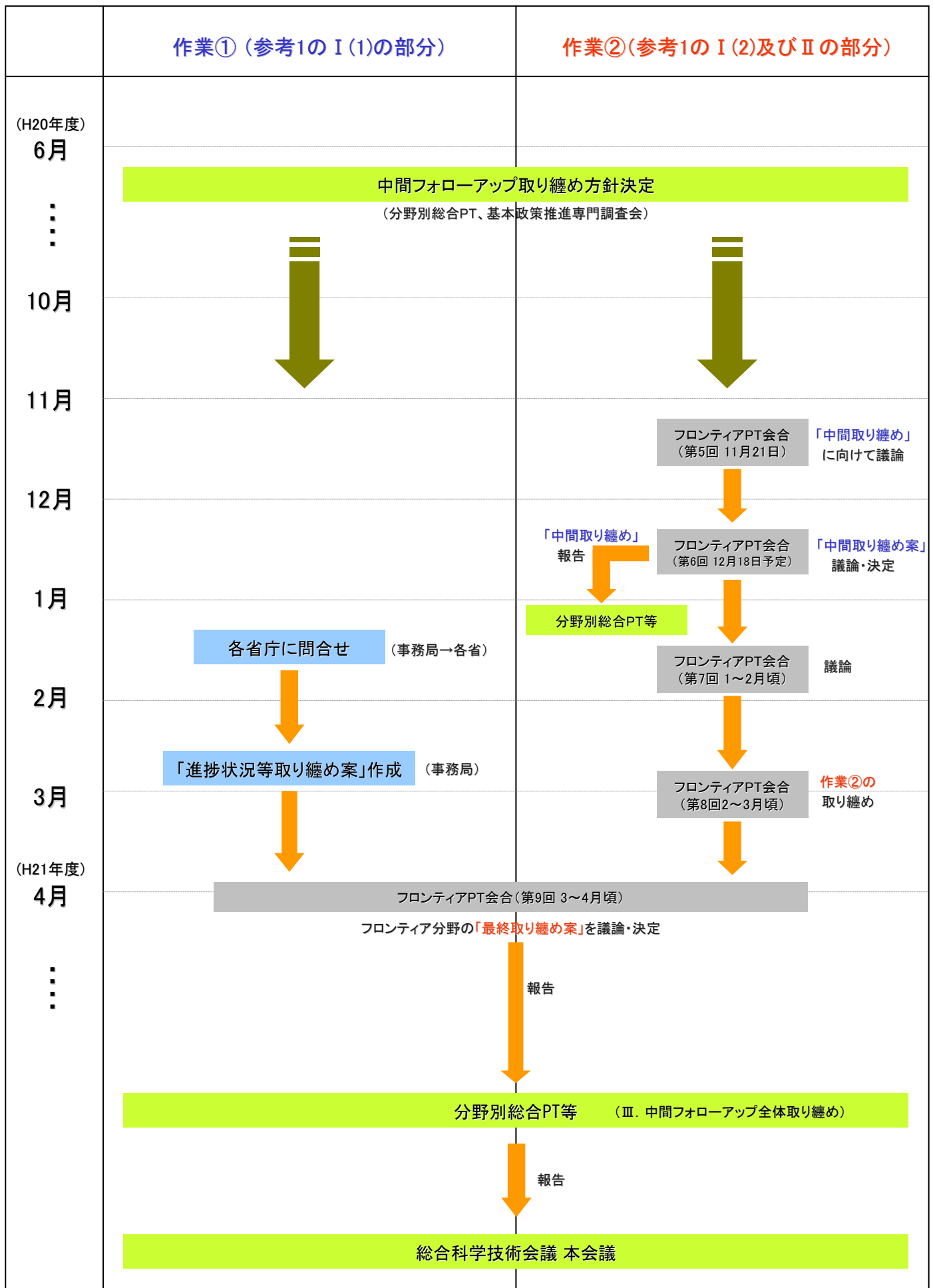
○第8回 フロンティア PT 会合 (2月~3月頃)

- **作業②の取り纏め**のための議論

○第9回 フロンティア PT 会合 (3月~4月頃)

- 作業①及び作業②の結果を受けて、「**最終取り纏め案**」について議論・決定

フロンティアPTを含む全体スケジュール(案)



※スケジュールは暫定